

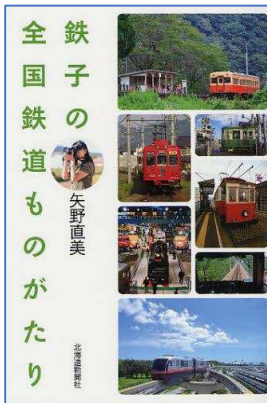
5月の職員オススメ本

「グッドサービス 特別お客様相談室・十南幸助」
嶋戸悠祐／著者 講談社



北海道の家電量販店を舞台に、日々の接客の裏で渦巻くトラブルや顧客心理、そして社員たちの葛藤を鮮やかに描き出す企業ミステリー。物語の中心となるのは、社運を賭けて新設された「特別お客様相談室」。カスハラ対策に悩む社員からの相談に応じ始めたメンバーたちは、複雑な案件に向き合いながら、顧客の言葉の奥に潜む“本当の問題”を探り、時に会社の仕組みそのものに踏み込んでいきます。

一見すると小さなトラブルが、やがて企業全体を揺るがしかねない事件へと発展し、チームの絆とサービスのプロとしての視点が試されていく展開は読み応え十分。サービス業に携わる人はもちろん、働くすべての人に響く、温かさとしりるが同居した一冊です。



「鉄子の全国鉄道ものがたり」
矢野 直美／著 北海道新聞社

飛行機に乗る空の旅もワクワクしますが、ゆっくりと車窓からの景色を眺めながら旅時間を満喫する鉄道の旅もよいものですね。いろいろな列車や車両、駅、ローカル線、今は廃止となった路線など、鉄道フォトライター著者が全国四季折々のとっておき鉄道スポットを紹介。日本の鉄道の魅力がいっぱいの1冊。

「十角館の殺人 新装改訂版」
綾辻 行人／著 講談社



K**大ミステリ研究会のヴァン、オルツイ、ポウ、エラリイ、アガサ、カー、ルルウ（会員たちはニックネームで呼び合っている）7人は、半年前に連続殺人が起きた十角形の館が建つ孤島・角島を訪れた。やがて学生たちを襲う連続殺人が起き、残された学生は疑心暗鬼に陥ってしまう。犯人は一体誰なのか？

「職員のオススメ！絵本・児童書展示」で、辻村深月さんの「あなたの言葉を」というエッセイ集をオススメしました。辻村さんが小学六年生の時「十角館の殺人」に出会い、当時周りの方にも薦め、すばらしい推理小説ですと記載がありました。そのほかにもエピソードがあるのですが、それはぜひ、「あなたの言葉を」読んでいただきたいと思います。この本を通して、辻村さんと同じ読書体験をしてみませんか？